

令和2年度 さいたま市立針ヶ谷小学校 学校関係者評価書

さいたま市立針ヶ谷小学校

学校関係者評価委員長 橋本 孝 印

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数

9名

(2) 実施回数

年間2回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

(1) 児童の挨拶がよくなってきている点について

昨年度の学校評価で、挨拶についての項目は評価が低かった。今年度は、児童会を主体とした「あいさつの花」の取組が児童に有効であったと考えられる。一方、家庭にも協力をお願いし、交通指導員・防犯ボランティアの方から「挨拶がとてもよくなり、やりがいが持てるようになってよかった」等の声をいくつもいただいた。

(2) 学校行事の在り方について

コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休校等が多くあったため、学校行事も縮減した。運動会や音楽会を地域の方々に参観していただくことができなくて残念であった。児童の自己評価の「進んで本を読んでいる」では、年度当初の本の貸し出しが制限されていたのでマイナス評価となった。学習と運動の指導については、評価が高かった。

(3) 教職員の働き方改革について

昨年度、働き方改革は幼稚園でも課題であった。今年度は、一人当たりの毎月の時間外勤務の平均時間は、コロナウイルス感染症防止の影響もあるが、昨年度よりかなり減っている。校外学習や学校行事の中止・見直しにより働き方改革にも係わることができた。また、地域やPTAの行事等の自粛により、週休日の出勤がなくなり業務改善となった。

学校関係者評価を受けた学校の対応

挨拶については、キャンペーンなどの活動も引き続き行い、活動を盛り上げていきたい。地域との連携も推進し、交通指導員・防犯ボランティアや地域の方へのお願いをしていく。さらに、講話や生活朝会などの全体での指導だけでなく、道徳や学級活動などを活用して指導を重ねていく必要がある。

学校行事の在り方については、働き方改革とコロナウイルス感染症防止にも係わるが、子どもたちの育成にとって大切なものと削っていけるものとを判断し、縮減を図りながらも効果あるものを工夫して充実させたい。

教職員の働き方改革については、今年度コロナウイルス感染症防止の影響で行事等の中止により改善を図る機会となった。来年度は、行事の精選・縮減・年間行事計画の見直し等に着実に取り組み、さらに働き方を変えていきたい。具体的には、運動会・音楽会等の内容や実施の方法について検討したい。

今回も様々なご意見や貴重な情報を得ることができ、有意義な会であった。今後の指導に生かしていきたい。

さいたま市立針ヶ谷小学校長 鈴木 康 弘 印